（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	ぐりーん菅原支店			
○保護者評価実施期間	2026年　9月　1日	～	2026年　9月　30日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	28名	（回答者数）	11名
○従業者評価実施期間	2026年　9月　1日	～	2026年　9月　30日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	10名	（回答者数）	9名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年　10月　19日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	プリントなどの成果が視覚化しやすい課題を実施することで保護者への説明がしやすく理解も得られやすくなっている。送迎やモニタリング、連絡帳などを通して支援の専門性を伝えることができている。	個々の能力や特性に合わせた支援やプログラムが実施できている。	保護者や職員間での交流を増やし、気付きや考えを共有していく。
2	LINEや電話、送迎などを通した職員と保護者の交流機会の多さが、保護者の安心や支援の充実につながっている。	本人の好きな遊びなどに集中できるようにサポートし、事業所で快適に過ごせるよう配慮している。	こどもにより良い支援を行うために、遊びや保護者からのお話など様々な側面からこどもへの理解を深め、支援や遊びにつなげていく。
3	ワンフロアで見通しが良く、目が行き届きやすい。	フロア全体を見渡せる位置に職員を配置し、声を掛け合いながら見守っている。	清掃をはじめとした取組で清潔感を保ちより快適に過ごせるように配慮する。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	聴覚過敏のあるこどもへの配慮が足りていない。	ワンフロアであることで見通しがいい反面、落ち着ける空間、一人になれる空間などの確保が難しい。	新しく壁を作り増やした個別支援ルームを活用する。パーテーションやイヤーマフを活用する。
2	保護者の要望が強い場合や、難しい支援が必要とされる場合において、こども本人の権利や利益に沿いきれていない側面がある。	こどもだけでなく、保護者も支援を必要としている主体として寄り添う必要がある。幅広い年齢の職員がおり専門性もさまざまであり、統一した支援が難しい面がある。	保護者の負担軽減も考えながら、こどもの将来を見据えて最善の支援ができるように心がける。職員間での意見交換の機会を増やし、それぞれの専門性をもってより良い支援につなげていく。
3	保護者が参加できる説明会の案内や、保護者への防災設備等や訓練等の周知が足りていない。	説明会などの連絡の頻度が少ないものや行っていないものがある。防災訓練などについては、行っていても送迎の職員が立ち会っていないことがあり、伝えられないことも多かった。	保護者に周知するべき項目がある際は送迎の前に職員間で共有しておく。また、説明会などの案内があれば今後はそれをしっかりとお伝えしていく。

（別紙４）

公表　保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	ぐりーん菅原支店

公表日　2026年　10月　30日

利用児童数　28名　　回収数　11名

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	10			1	バリアフリーで広くて十分に活動できるスペースです。	活動スペースを十分に確保できるよう、引き続き整理整頓に努めます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	8			3		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	10			1	ぐりーんにいるときでも好きにピアノができるのはいいと思う。 ワンフロアーでゆったり遊ぶスペース、勉強と作業するスペースがわけられていて快適だと思います。	遊ぶスペースと学習・作業スペースを分けた環境を続け、過ごしやすい空間づくりに努めます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	9	1		1	目的ごとにスペースが分けられているので、活動しやすいと思います。	目的ごとのスペース分けを続けるとともに、清掃を徹底して清潔で快適な環境を保ちます。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10			1	子どものことを十分に理解し、好きなことを準備して下さいました。	こどもの好きなことや特性をふまえた支援を、職員間で共有しながら続けます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	10			1		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	9	1		1	個性を理解し、個別性に対応して下さっている計画です。	一人ひとりの個性に合わせた計画づくりを続け、内容をよりわかりやすくお伝えします。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	10			1	半年に1回面談をして下さり、家族の要望、本人の支援内容などについて相談・計画して下さいます。	半年に1回の面談で、ご家族のご要望をうかがいながら計画を作成していきます。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	10			1		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	9			2	当日の様子ですべきことに対応して下さっています。	その日のこどもの様子に合わせて、活動内容を柔軟に工夫していきます。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	2	1	2	6		放課後児童クラブや児童館、地域のこどもと交流できる機会づくりを検討していきます。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	9			2	利用料金について丁寧に説明してくださいました。	利用料金や制度について、今後もわかりやすく丁寧にご説明します。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	10			1	相談の際に今後の目標・支援内容について丁寧に説明して下さいます。	面談の際に、目標と支援内容をわかりやすくご説明していきます。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2	2	2	5	家族にもよりそって相談に応じて下さり、情報提供して頂いています。	面談で家庭での関わり方のご相談をお受けしています。HPの「おうちでできるペアトレ練習」や毎月の保護者向けコラムを、LINEでご案内します。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	11				利用状況・健康・発達状況について気にかけてくださり、報告・相談して下さいます。	日々の様子や健康状態について、今後も送迎時や連絡帳でこまめにお伝えします。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10	1			電話・面談・送迎時・ラインで気軽に相談・アドバイスをして下さいます。	電話・面談・送迎時・LINEなど、気軽に相談できる方法を今後も大切にします。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	10			1	いつも親切・丁寧・共感的対応で接して下さいます。	今後もご本人・ご家族の気持ちに寄り添った対応を心がけます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	3	4	3	本人・家族に対して、いつも親身になって親切・丁寧に対応して下さいます。アドバイスも的確で、気軽に相談しやすい先生方の対応がとてもありがたいです。育児の相談にも気軽にのって頂けるので、安心できます。	温かいお言葉をありがとうございます。保護者同士・きょうだい同士の交流の機会が少ないため、保護者会やイベントの開催を検討していきます。

	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	6	1		4	いつも親身になって相談にのって下さり、アドバイスを下さいます。対応が迅速で丁寧です。	相談や申し入れの窓口について、改めて保護者の皆さまに周知していきます。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	11				ライン・電話で連絡がつきやすい配慮がされています。	LINE・電話で連絡がつきやすい体制を今後も続けます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	6	1	1	3		ホームページやSNSでの発信を続け、自己評価の結果も公表してお知らせします。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	4	1		6	小さな傷に対しても早急に処置して下さり、感染症予防に気配りして下さいます。	感染症予防や応急処置を引き続き徹底するとともに、各種マニュアルや訓練の内容を保護者の皆さまにお知らせしていきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	3	1		7		避難訓練などの実施状況を、保護者の皆さまにお知らせしていきます。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	6	1		4	安全に注意して支援して下さっています。	安全計画の内容を保護者の皆さまにお知らせし、安全に配慮した支援を続けます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	8			3	子どもの不注意の小さなケガでも早急に処置・対応をして下さっています。	小さなけがでも、速やかな処置とご連絡を今後も徹底します。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	11				居心地がいいので、安心感をもって、リラックスして利用させて頂いています。	今後も安心して通っていただける環境づくりに努めます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	10			1	先生方とお友達とお話し・遊べるのを楽しみにしています。	お友達や職員と楽しく過ごせる活動を、今後も工夫していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	11				先生方の親切で丁寧な対応に大満足です。いつもお世話になり、ありがとうございます。	温かいお言葉をありがとうございます。今後も丁寧な支援に努めます。

（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	ぐりーん菅原支店

公表日　2026年　10月　30日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		学習スペースを分け、定員に対して活動に必要な広さを確保している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	2		職員が不足していると感じる日がある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8		遊ぶスペースと学習・作業スペースを分け、取り組みやすい環境にしている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	1		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		7		第三者評価は未実施のため、今後の受審を検討する。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	2		外部の研修やワークショップに参加する機会を増やしていく。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9		支援プログラムを作成・公表し、一人ひとりの能力に合わせて支援している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	1		こども本人の利益や思いを、より丁寧にくみ取る必要がある。理解力や能力に合わせた計画づくりを進める。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	1		活動プログラムの立案を、チームで行う機会が十分でない。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	1		活動プログラムが固定化しないよう、内容を見直す機会を設ける。

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	1		集団活動の機会がやや少ない。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		支援後に、気付いた点を職員間で伝え合っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	7			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		こども一人ひとりに合わせて、学校と連絡調整を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	1		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	1		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	4		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	2		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		こども一人ひとりに合わせて、保護者と状況を伝え合っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	3	ご家庭ごとに、相談に応じて情報提供を行っている。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7			
	37	放課後等デイサービス計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		ご家庭ごとの状況に合わせて、相談に応じている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	3		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		ご家庭ごとの状況に合わせて、丁寧に対応している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	2		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	1		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8			非常時の連絡方法（LINE一斉連絡・災害用伝言ダイヤル171）を、職員間で改めて確認・共有する。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		8	保護者から聞き取ったアレルギーの情報を、職員間で共有している。	現在は保護者の聞き取りで対応している。今後、医師の指示書の提出をお願いする運用を検討する。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7			